同	同	同	左田	
同	同	同	中左田	
同	同	同	奥佐田	
同	同	同	圓黒	
同	同	同	御堂ケ入	
同	同	同	大根	
同	同	同	ベボツケ根	
同	同	同	蛇ノ入	
同	同	同	馬山	
同	同	同	大坂	
同	同	同	仲根	
同	同	同	楠ノ木	
同	同	高隆寺	一ノ坂	一番　四番　五番　八番　十六番　十七番
同	同	同	東谷	十九番　二十番　二十四番ノ一　二十七番　二十八番　二十九番　三十三番　三十四番　三十五番　三十六番　三十七番　三十八番　三十九番
同	同	同	大荷場	
同	同	同	北ケ入	
同	同	同	坂ケ元	
同	同	同	和留澤	
同	同	同	小屋場	
同	同	同	稻葉	
同	同	同	奈良	
同	同	同	松根	
同	同	同	聖谷	一番　十八番　十九番　二十五番　三十三番　三十六番　三十七番
同	同	同	堂根	十一番　十二番　十七番　十八番　十九番　二十番　二十一番　二十二番　二十六番　二十七番　二十八番　三十一番　三十二番　三十三番　三十四番　三十七番　三十八番　四十一番　四十二番　四十五番　四十六番　五十一番

內務省告示第十八號

明治三十四年七月內務省告示第七號ヲ以テ指定シタル治水上砂防ノ爲一定ノ行爲ヲ禁止制限スヘキ土地ノ區域中ヨリ左記ノ土地ヲ解除ス

大正三年三月三日　內務大臣　原敬

愛知縣

郡名	町村名	大字名	字名
額田	男川	丸山	スブ田
同	同	同	廣ケ澤
同	同	同	後田
同	同	高隆寺	阿世保

大藏省告示第十八號

大正二年十二月大藏省告示第百七十二號中左記町村ノ煙草耕作段別ヲ左ノ通更正ス

大正三年三月三日　大藏大臣　男爵高橋是清

管轄支局	府縣	郡區市	町村	種類	耕作段別
水戸專賣支局	茨城縣	久慈郡	機初村	水府葉	三十八町歩以內
			世矢村	同	五十九町歩以內
			佐竹村	同	四十町歩以內
			久米村	同	三十八町歩以內
			金鄉村	同	百五町歩以內
			金砂村	同	百六十四町歩以內
			染和田村	同	百九十町歩以內
			譽田村	同	九十七町歩以內
			河內村	同	百九町歩以內
		那珂郡	中里村	同	百一町歩以內
			賀美村	同	六十八町歩以內
			幸久村	同	十一町歩以內
			坂本村	同	十七町歩以內
			額田村	同	十六町歩以內
見付專賣支局	靜岡縣	小笠郡	土方村	遠州葉	八町歩以內
一		愛知郡	豐明村	遠州葉	十八町歩以內
名古屋專賣支局	愛知縣	知多郡	大高町	同	四町歩以內
			大府村	同	四十町歩以內
			東浦村	同	十九町歩以內
			上野村	同	二十七町歩以內
			横須賀町	同	十九町歩以內
			八幡村	同	十九町歩以內
			旭村	同	六町歩以內
			阿久比村	同	五町歩以內
			武豐町	同	四町歩以內
岡山專賣支局	岡山縣	上房郡	吉川村	備中葉	十二町歩以內
		御津郡	加茂村	同	八町歩以內
			豐岡村	同	四町歩以內
		吉備郡	箭谷村	同	九町歩以內
	岡山縣	後月郡	山野上村	備中葉	十一町歩以內
			青野村	同	十五町歩以內
			芳井村	同	十八町歩以內
			明治村	同	四十三町歩以內
			共和村	同	十九町歩以內
			三原村	同	十一町歩以內
		小田郡	堺村	同	十九町歩以內
	岡山縣	久米郡	弓削村	備中葉	十四町歩以內
			神目村	同	十九町歩以內
			龍山村	同	十三町歩以內
	岡山縣	久米郡	鶴田村	備中葉	二十八町歩以內
			大垪和村	同	二十八町歩以內
			垪和村	同	十八町歩以內
			倭文西村	同	二十町歩以內
	岡山縣	上房郡	松山村	備中葉	二十二町歩以內
			津川村	同	十九町歩以內
			川面村	同	三十町歩以內
			巨瀨村	同	三十四町歩以內
			有漢村	同	三十三町歩以內
			上有漢村	同	四十町歩以內
		川上郡	上竹莊村	同	十六町歩以內
			豐野村	同	二十町歩以內
			下竹莊村	同	十四町歩以內
			高倉村	同	十八町歩以內
			落合村	同	二十三町歩以內
			成羽村	同	二十六町歩以內
	岡山縣	川上郡	日里村	備中葉	十九町歩以內
			手莊村	同	四十五町歩以內
			大賀村	同	五十三町歩以內
			高山村	同	二十町歩以內
	岡山縣	川上郡	富家村	備中葉	二十八町歩以內
			平川村	同	三十四町歩以內
			湯野村	同	二十六町歩以內
			宇治村ノ內大字本繩、穴田、宇治	同	十四町歩以內
			中村	同	二十八町歩以內
	岡山縣	阿哲郡	草間村	備中葉	百五十二町歩以內
			石蟹鄉村	同	二十六町歩以內
			本鄉村	同	二十六町歩以內
	岡山縣	阿哲郡	豐永村	備中葉	百十四町歩以內
廣島專賣支局	廣島縣	神石郡	來見村	備後葉	十六町歩以內
			上村	同	八町歩以內
			仙養村	同	三十五町歩以內
			豐松村	同	百十町歩以內
		比婆郡	久代村	同	十三町歩以內
	廣島縣	比婆郡	庄原町	備後葉	四町歩以內
		甲奴郡	甲奴村	同	七町歩以內
	廣島縣	甲奴郡	吉野村	備後葉	十六町歩以內

一郡山專賣支局管內福島縣田村郡御館村大字下枝（字平松、六合內、富金、猫田ヲ除ク）ノ次ニ駒板ヲ加フ

農商務省告示第五十七號

大正三年二月二十八日附ヲ以テ神奈川縣橫濱市山下町七十一番地フィニックス、アッシュランス、コムパニー、リミッテッドニ對シ海上保險事業ヲ營ムコトヲ免許シタリ

大正三年三月三日　農商務大臣　山本達雄

遞信省告示第百二十六號

本月六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

大正三年三月三日　遞信大臣　元田肇

名稱	位置
高濱郵便局	石川縣羽咋郡高濱町

遞信省告示第百二十七號

明治四十一年十二月遞信省告示第千三百六十一號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル國等ヲ示ス表「第一　通常爲替」「二　直接交換國郵政廳ノ媒介ニ依リ交換スル國」「甲　羅馬約定加入國郵政廳ノ媒介ニ依ルモノ」ノ部附註ノ項葡萄牙殖民地ニ於ケル通常爲替取扱局名中「アンゴラ」ノ部ニ「ドムブ、グランド（Dombe-Grande）」「ツムパタ（Humpata）」及「キレング（Quilengues）」ヲ「アルファベット」順ニ加フ

大正三年三月三日　遞信大臣　元田肇

遞信省告示第百二十八號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

大正三年三月三日　遞信大臣　元田肇

		錢	
香港洋銀	一ダラー	九四・四一七	一圓ニ付一「ダラー」〇五「セント」九一四
墨銀	一ダラー	九三・三三三	一圓ニ付一「ダラー」〇七「セント」一四三

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

正誤

昨二日遞信省告示第百二十四號一項中「アルミニューム」ノ下ニ製ノ字ヲ脫ス　遞信省參事官

○辭令

從三位勳二等法學博士　倉富勇三郎
勳四等　藤澤幾之輔
勳四等　小川平吉
正五位勳四等法學博士　加藤正治
松田源治

法律取調委員被仰付

（各通）

正五位勳三等　岡實
正五位勳四等　山根正次
正五位勳四等　湯河元臣

法律取調委員被免

（各通）

從三位勳二等醫學博士　三浦守治

帝國大學令第十三條ニ依リ勅旨ヲ以テ東京帝國大學名譽敎授ノ名稱ヲ授ク

大阪府警視　谷口武兵衞
大阪府警視　宮內廣八

依願免本官（以上三月二日內閣）

（各通）

帝室會計審査官　春宮莊一郎

宮內官分限令第十六條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス（三月二日宮內省）

東京區裁判所判事兼東京地方裁判所判事　鶴峰四郎

退職ヲ命ス（二月二十八日司法省）

名古屋地方裁判所檢事　大原敬藏

退職ヲ命ス（三月二日同）

東京帝國大學工科大學敎授工學博士　寺野精一

東京帝國大學評議員ヲ命ス（三月二日文部省）

東京女子高等師範學校敎授　佐藤球

奈良市ヘ出張ヲ命ス（二月二十四日東京女子高等師範學校）

工業試驗所技師工學博士　三山喜三郎

神戶商工協會主催第二回貿易製產品共進會審査長ヲ命ス（三月二日農商務省）

航路標識管理所技師　明石幸橋

橫濱ヘ出張ヲ命ス（二月二十八日遞信省）

檢査官　杉榮三郎
副檢査官　武藤榮治郎

（各通）

文部省東京帝國大學農科大學東京美術學校外六箇所會計實地檢査トシテ出張ヲ命ス（三月二日會計檢査院）

長崎縣立壹岐中學校敎諭　島飼生駒

九級俸下賜（三月二日長崎縣）

宮城縣立築館中學校長　糟谷宗資
宮城縣立古川中學校長　河合絹吉

（各通）

六級俸下賜

宮城縣立築館中學校長　木村寔

五級俸下賜（以上二月十八日宮城縣）

宮城縣工業技師　小泉榮次郎

年俸千二百圓下賜（二月十九日同）

山形縣立庄內中學校長　青木儀太郎

二級俸下賜（二月十八日山形縣）

石川縣農事試驗場技師　間瀨鉦太郎

年俸八百圓下賜（二月七日石川縣）

鳥取縣立倉吉中學校敎諭　安川嶽太郎

九級俸下賜（二月九日鳥取縣）

鳥取縣師範學校敎諭　鶴岡重治

九級俸下賜（二月十八日同）

正誤

昨二日本欄一一頁上段澤木義和ハ澤木義知ノ誤　司法大臣秘書官

○宮廷錄事

○泰宮御住所　當分ノ內霞關離宮ヲ以テ聰子內親王殿下ノ御住所ト定メラレ明後五日御移轉アラセラルヘキ旨御治定相成リタリ

○泰宮御歸京　聰子內親王殿下ハ明後五日神奈川縣下鎌倉御發御歸京ノ旨御治定相成リタリ但シ當日强風雨ナレハ御順延ノ筈ナリ御發著割左ノ如シ

午前九時三十五分　鎌倉御用邸御出門
同　九時五十分　鎌倉停車場御發車
同　十一時二十五分　新橋停車場御著車
御歸京　霞關離宮

○謁見　在本邦獨逸國大使館附海軍武官海軍大尉フォン、クノル著任ニ付キ敬意ヲ表スルタメ同國特命全權大使伯爵フォン、レックス同伴昨二日午前十時三十分　天皇陛下ニ謁見了テ夫人ト共ニ同大使同伴　皇后陛下ニ謁見仰付ケラレタリ

第476号　本文